

新入会員のご紹介

会員は辞書の1ページ

南西支部
つくばアグテック（株）代表取締役
杉山 武裕さん
農業参入・スマート農業、デジタル農業、海外展開等に関するコンサルティング

半年前に法人成りしたばかり。経営の右も左も分からないので、同友会でしっかり経営を学んでいきたい



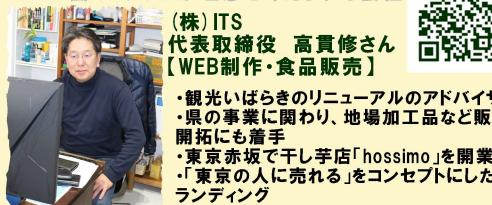
同友会の例会に参加し経営者の皆さんと真剣に学ぶ姿に衝撃を受けた。自分も一緒に学びながら、地域に元気な企業を増やし、地域発展の一助になりたい

県央海浜支部
ソニー生命（株）水戸支社
ライフプランナー
加藤木 俊介さん
金融・保険業

会員企業紹介

QRコードよりHPをご覧ください。
気になるお仕事等ございましたら
ぜひご連絡してみてくださいね(^^)/

常に「最新」の情報を提供し、
働くスタッフが理想を叶えられる会社



お客様の記念日に寄り添うジュエリー店
CHRIS（株）ジュエリーネモト
代表取締役 根本充位さん
【宝石販売業】

お客様の記念日に寄り添うジュエリー店
・お客様の想い出に寄り添った接客サービス
・耐震のため、塗装工事 入りやすい店舗へ
・3R（リフォーム・リサイクル・リペア）の拡充
・オリジナル商品拡大

温かいサービスで笑顔を創造する介護施設
（株）ライフソポート山野
代表取締役
山野 英治さん
【介護サービス業】
・2021年に新卒採用に挑戦
・小規模介護事業所経営研修会の開催
・組織成長のための人材育成・同友会の幹部社員研修活用
・幹部社員のアンさんをモデルケースに外国人材支援

【編集後記】 ココ・シャネルの言葉（読書感想文）

「どんな人になりたいですか？」と尋ねられたらなんと答えますか？シャネルは「かえがえのない人間でありたい」と答え続けたそうです。自分の人生は自分で決めると決意し、働く女性の先駆者であったシャネル。かえがえのない人間であるために人はと違っていなければならない。生涯貴いたその強い信条。

黒ニセ服のイメージを「シックでモードな色」に変えたのも彼女です。シンプルな服装を好んだシャネルは自身の思考もシンプルなものであったのではないかと思います。自分の好きなものと嫌いなものがはっきりと分かっているから、自分のやるべきことが自分と見えてくる。自分の才能と魅力に自信を持ち、自分の価値も知っている。努力を惜しまず、現状に満足もしない。非難されても負けることなく、一貫して自分のスタイルを貫き通す。自分の人生を自分らしく生き抜いてみせるという、生半可ではない健気な覚悟。

この本に目を通しているだけで背筋が伸びるような、びしりと注意を受けているかのよう。。。自分自身をどうにかしたいときにこそ心に突き刺さり、前に向かって背中を押してくれる言葉の数々が散りばめられています。

「香水で仕上げをしない女に未来はない」とりあえず私もファッションの仕上げには必ず究極のアクセサリーを振りかけようと思います。（shimo）

お客様と共に良い「環境づくり」を目指して
地域に貢献する会社

(同)アースウインド環境企画
代表取締役 掛札武志さん
【一般廃棄物の収集業】
・社長がいなくとも会社がまわる仕組みづくり
・適正検査なども導入し自社にあう人の採用と育成
・業務細分化・デジタル化に着手

日本にとどまらず世界を見据えて
「車は楽しい」を届ける会社
NISHINOBODYRIPAR
代表 西野克宏さん
【自動車鍛金塗装業】

・敷居の高い会社になるための新規採用
・バーチ生産のため会員企業と情報共有
・社長の仕事が出来る組織づくり
・自社の技術をバーチ生産、溶接、塗装へ転換

地域に根ざし50年。報恩感謝を実践・体現する運送会社

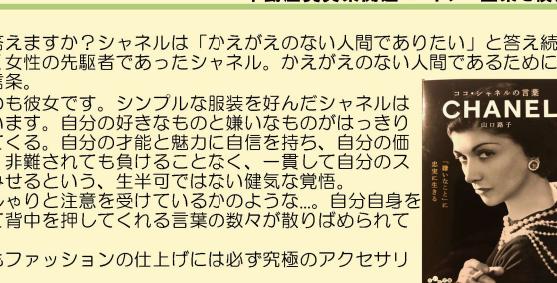
稻葉運送（株）
代表取締役 稲葉佳正さん
【運送業】

・10代から70代まで幅広い層が働いている
・自社に合う人材を得るために面接・リファラル採用
・固定客との信頼関係の維持と構築
・社員第一の安心安全な職場環境と社風

ニーズにあわせた提案とデザイン力で
クライアントに選ばれる設計事務所

石井邦明デザインスタジオ
一級建築士事務所
代表 石井邦明さん
【建築設計・不動産賃貸業】

・自社設計・所有のアパート物件完成
・より多くの優良な賃貸住宅提供の準備
・自社PRに向けたコンセプト設定
・不動産賃貸業関連パートナー企業を模索



No322 2023年5月1日

DOYU IBARAKI



発行:茨城県中小企業家同友会
〒310-0851 水戸市千波町1918 セキショウウェルビーイング福祉会館3階
Tel:029-243-8230
Fax:029-243-7225
Mail:info@ibaraki.doyu.jp

第38回定期総会



2023.4.13.Thu.
in ホテルテラスザガーデン水戸

2023年度合同入社式・新入社員研修会



一社ではできないことをみんなの力で！

社内で体系的な社員教育が出来ないため、同友会を活用しました

基本のマナーや考え方から、チームワーク・グループ討論と多岐にわたる内容が良かった

社会人の仲間入りをしたというセレモニー 意識変革や仲間づくりの場

講師に熱量があって良い 新入社員のレベルの高さにビックリ！

Nextフォローアップ
2023.10.6.Fri.

参加企業の声

3月例会報告

**例会こそが同友会活動の要！
月に一度は必ず参加しよう！！**

日立支部



3月1日(水)日立シビックセンター(Zoom併用)
報告者:小野二三男さん 総合看板ピーライン 代表
『ピーラインに何ができるのか?何ができないのか!』

小野さんの強みはスピードと行動力。“感”的経営で機材を次々と導入。やることが次々とヒットはするけど、次第に大手参入や真似をされて価格競争に巻き込まれていた。

売れすぎず売れなさすぎず、広げ過ぎず、狭すぎずが中小企業にはちょうど良いのではないか…そう考えていた小野さん。ビーラインはいろいろ扱っているが何屋なのか？何を提供する会社なのか？例会づくり～報告することで見えてきた漁師の強みを生かした看板屋との二刀流経営。“感”的経営に“学び”的経営をプラスしていくビーラインの今後をお楽しみに！

(レポート:永岡 誠司さん)

県央海浜支部



3月20日(月)セミナー「セルフ・イノベーション」 福祉会館(Zoom併用)
報告者:鈴木 達也さん (株)鈴木建装 代表取締役
『働き方改革～Z世代の特性をどう生かしているのか？～』

鈴木社長はワライバクリエイト業というヘンテコな副業を上げていますが、施主に愛のある暖かなワライバを提供する為にはそこを創造する職場にも同じ愛のある暖かでゆとりがある職場が必要と考えています。その為には社員を信頼する事、特性を理解し、働きやすい環境、仕事を与える事を重視していくように思いました。その結果社員は社会人としても成長して来ています。鈴木建築はこの先日本一利益を上げる会社にはならないと思いますが、働く社員が日本一幸せを感じられる会社になるれる可能性は高いと思います。またそうした会社こそ社員の特性を生かして予測出来ない外部環境の変化にも順応する反応の速さ、企画力行動力が産まれる様に思います。

(レポート:大畠 邦博さん)

水戸支部



3月29日(水)セミナー・ウェビング® 福祉会館
報告者:八巻 大介さん (株)つくば食品 代表取締役
『社長がいなくても、8割は会社がまわる仕組み』

本年度最後の報告には、八巻さんに組織づくりについてご報告頂きました。現在弊社もそうですが、会員の皆様の企業も平均すると6~10名の社員数規模が多いかと思います。社員数が少なければ少ないほど、今回の例会は参考にならないとお考えの方、むしろそれは逆です。ワンマンプレイヤーで居続けるという選択肢もありますが、もうとっくにご自身の境界は超えているのではないかでしょうか？単純に売上規模を拡大するということだけではなく、社員や外注先・取引先との組織づくりをしっかりと構築することで、自身の更なる成長を目指すことだって可能です。ご自分でやらなくてもいいことをリストアップしてみると、意外と社長がやらなければならない事は少ないのでかもしれません。この機会に『役割と責務』を細分化し、各セクションで役割分担を明確にしてみてはいかがでしょうか？もしかしたら今よりも学びに充てる時間が増えるかもしれません。

(レポート:磯崎 俊成さん)

南西支部



3月28日(火)つばは研修支援センター（Zoom併用）
報告者：物江 学さん ひまわり社会保険労務士事務所 所長
『幸せ視点の「理想のチーム」を目指して！
　半径5mの関係の質から始めろチーム作り』

会社はチームであり相互信頼が何より大事のことでした。そのためには社内の心理的安全性を重視し社員一人一人の自立を促す組織でなければならない、また経営理念は浸透させるのではなく関心から共感、共鳴し共有する事だとお話をでした。労使はビジネスパートナーでありお互いの幸福を考える事が重要でありその事は採用や育成にも大切だと感じました。（レポート・些沢 功さん）

県西支部

3月31日(金)ヤクルトはなももプラザ(Zoom併用)
報告者:中村 金伸さん (株)マルキン 代表取締役
『自社の課題と向き合う例会』



今月は県西会員、中村金伸さんに久方ぶりの報告をいただきました。中村さんが代表として堂々株式会社マルキンは1976年に創業した浅漬け製造を生業とし、中村さんは父親である先代を継ぎ2008年に代表取締役へ就任、以来長年にわたり育み受け継がれてきた大切な「古漬け」技法でマルキン食感を届け続けています。また今回、浅漬けは梅干し、たくあん、酢漬け、キムチ、古漬けとともに漬物の一種ですが、製造方法、機械設備は各々全然異質であることも知りました。そんな漬物業界にもやはり長年食卓には欠かされない食の一品であったからの多く課題が山積しているようです。生活様式の変化、大手の参入拡大、同業者他社の廃業、そしてコロナ禍、中村さんはこのまま浅漬け製造に固執し続けていいのかいつしかそんな課題も浮上してきました。しかしこの経営実践報告を通して、その課題の根幹には業界の慣例!?、本人の固執感があるのではということ、参加者からのフィードバック・G論から醸し出されました。いろいろな業界、いろいろな経営者が集い語り合うとそこにはまた新たな発想が生まれる。まさに同友会を堪能する機会を中村さんにいただきました。マルちゃんどうもありがとう！そして、これからもヨロシク！（レポート：斎藤 哲生さん）

ト"ラゴ"ン支部



3月9日(木)牛久市商工会館
報告者:大木 範彦さん (有)
『DON'T THINK,FEEL! 燃えよ、範

「目の前のこととは出来るけど、未来のことになると頭も体も動かない。」
それが大木さんの現実でした。そこで今回は「例会までの1か月間で自社のビジョンの実現に向け実践した事のみを報告する」と事前に約束し、「売上10%増」や「凍凍こやきの商品化」、「つくば名物フェス開催」等に向けた実践結果が報告されました。

「未来への一歩」とはオフェンス。しかしお金・人材・失敗など不安要素ばかりを見ていてはディフェンス意識しか発動せず、試合を楽しむ余裕すらなくなります。まず試合を楽しむこと、そして勝つためにパンチを打ち続けること。本物のパンチは考えて打つものではなく、考えるよりも先に出るもの。ブルースリーの名言「Don't Think, feel!」から経営者の在り方を見つめた今回、「自分のビジョンに無我夢中か」そして「未来に向か常に自社の強みを磨いているか」という問い合わせに残った例会となりました。(レポート:木本、東祐さん)

(レポート:青木 恵之さん)

毎月開催の各支部例会に参加して、自社発展につながる学びと気づきを得ましょう！